

開 講 学 科	建築学科	実務家科目	前橋工科大学 シラバス			
		—				
科 目 名	建築インターンシップ	標準対象年次	選択／必修		科目コード	
		3 年次	選択		14105101	
担当教員	学科教員全員 (キャリア担当教員)	単位数	学 期	曜 日	時 限	
		2 単位	通年			
授業の教育 目的・目標	目的： 学外の企業等において建築の実務（企画・設計、施工、積算、行政等）を主に夏季休暇期間を利用して集中的に体験し学習する。 目標： 仕事のプロセスを学習し、それぞれの専門職の内容を把握するとともに将来の専門分野の進路を考えるとともに社会人としての自覚を身につける。					
学科の学修・教育 目標との関係	建築設計者・技術者として備えるべき倫理観を持ち、社会的責任を理解している。					
キーワード	仕事のプロセス・コミュニケーション能力・実践的・具体的・技術者倫理					
授業の概要	学外の企業等において実習時間 40 時間以上で主に夏季休暇期間を利用して学習する。受け入れ先との連携により企業側担当者より一定の評価を受ける必要がある。					
授業の計画	第 1 回：	ガイダンス・自己紹介書の作成 志望先企業の理解を得るため、出来るだけ具体的な自己紹介書を作成する。				
	第 2 回：	計画書作成 学生は事前に計画書を提出し、志望先の企業や実習期間中の学習目標を明確に示す。				
	第 3 回： ～ 第 11 回：	インターンシップに参加				
	第 12 回：	インターンシップ修了書の発行 受入企業担当者に大学側で用意した所定の書式に評価を記入してもらい提出する。				
	第 13 回：	自己申告書および報告書（レポート）の作成 学生は達成目標と到達度について実務成果を記入し提出する。				
	第 14 回：	ヒヤリング 提出書類をチェックし学生とヒヤリングを行い、情報を正確に把握する。				
	第 15 回：	成績評価 発表会を行い、上記の書類を基に総合的に判断しつつ、学科教員全員で評価を行う。				
	受講条件・ 関連科目	参考書： 特になし 建築全般の知識が前提であるが、希望する進路に近い科目の学習が必要。				
授業方法	実習先企業の方針による。					
テキスト・参考書	特になし					
成績評価	・ 期末試験（ % ） ・ レポート（100%）・その他（ ）（ % ） ・ 小テスト（ % ）					
履修上の注意	実習先など掲示に注意すること。 建築技術実務者としての準備段階として位置づけているので、社会人として身につけるべきモラルやコミュニケーション、業務に対応した注意事項などの作業日誌を作成する必要がある。					